

広報

みんなでつくる、未来へつなぐ。
あふれる笑顔、びらとり。

びらとり



本町地区文化祭芸能発表 11月4日
チアダンス発表「チア☆エンジェルズ」

平成30年度 平取町表彰式

11月3日、中央公民館にて、平成30年度平取町表彰式が執り行われました。
各分野の被表彰者と功績は次のとおりです。(敬称略)

産業経済功労賞 仲山 一弘(荷菜)



昭和55年から荷菜地区機械利用組合の設立構成員として、水稻の共同作業による経費削減と作業効率化により、いち早く複合経営への取組を行うとともに、平成12年から8年間、同組合の組合長を務められ、農業経営の向上と安定に大きな功績を残されています。

また、平成17年から12年間、平取町野菜振興会トマト・胡瓜部会の副会長を務められ、現在の40億円を超える、びらとりトマトの販売額に大きく貢献されています。

社会福祉貢献賞

交通安全指導員

千葉 繁(紫雲古津) 30年

平取町消防団員

橋本 頤(荷菜)	30年
和田与志男(荷菜)	30年
大崎 哲也(荷菜)	30年
樫野 勇司(貫気別)	30年
川上 信夫(荷負)	20年
小向 貴則(貫気別)	20年
佐藤 修(貫気別)	20年

民生委員児童委員

福原 謙吉(川向) 20年

奨励賞

振内おはなしサークルほたる

代表 八田 由紀子

振内おはなし

サークルほたる

平成14年のサークル発足以来、本の読み聞かせなどの社会貢献活動に継続してご尽力されています。

主に、振内地区の児童を対象に本の読み聞かせを行うほか、福祉施設において、お年寄りを対象に読み聞かせなどを実施しています。

また、図書館を通じて依頼を受けた他校での読み聞かせなどにも積極的に参加されています。

貫気別地区



- ①放課後子ども教室 ②浅道節子氏 ③カントリーサークル
- ④日本習字恵成支部 ⑤貫気別小学校 ⑥溝渕芳子氏
- ⑦弥生保育園 ⑧菊花同好会

平取町文化祭

11月3日、「文化の日」に合わせて、町内3地区（本町・振内町・貫気別）で文化祭作品展が行われました。
また、2日には振内地区、4日には本町地区において芸能発表が行われました。

本町地区



①日本習字恵成支部 ②信濃利昭氏 ③青山ヒロ氏
④Spools ⑤平取絵手紙の会 ⑥大崎恭子氏 ⑦平取美術同好会 ⑧ふれあいサークル ⑨平取高校書道部

振内地区



①大谷トク子氏 ②佐々富子氏
③振内パッチワークサークル ④写真同好会
⑤書道同好会 ⑥振内小学校 ⑦川奈野正氏

平取町重要文化的景観 三次選定

平取町は、平成 19 年に全国で三番目に国が定める文化財の一つである「重要文化的景観」に町内の A～F の 6 区域が選定されています。平成 28 年には小平から貫気別に至る三井物産社有林が G 区域として追加選定されました。さらに本年 10 月 15 日に、小平地区アベツ川流域の奥に向かって貫気別地区まで広がる国有林 (2,365.0ha) が H 区域として追加選定されました。その内容をご紹介します。

三次選定された区域名をアベツ・貫気別南区域と呼び、「アイヌの生活民具などの地域の文化と人々の暮らしを育み創造する豊かな森林景観」が選定区域全体を表すテーマとなっています。

この区域は、アイヌの人々が豊かな森林・河川空間を使い、暮らしに必要な自然素材を採取する場、狩猟の場 (IWOR) として自然と共生した生活を営み、それらを活かして様々な生活民具を作り、独自の文化を育んできた場所と考えられます。



平取町重要文化的景観の三次選定範囲
(H 区域) の位置図



狩場の中に入る沢という説もある
アイヌ語地名のある沢



材木搬出に馬が利用されていた痕跡 (馬搬道跡)
(※写真の白い破線の部分がその痕跡)

また、明治後半からパルプ用材として針葉樹の伐採・搬出が始まり、馬搬や流送などが地域住民の雇用の場となり、冬場の生活を支え、今も山菜・茸の採取や狩猟の場として利用されています。

さらに選定区域は、「21 世紀・アイヌ文化伝承の森」プロジェクトの対象地となっており、百年後、二百年後を見越した北海道古来の森づくり、文化伝承に必要な伝統的利用植物の再生などによる自然素材の持続的提供などを目的とした活動が行われている場となっています。

北海道胆振東部地震 平取町へのご支援に感謝申し上げます

9 月 6 日午前 3 時 7 分発生の地震により、平取町でさまざまな場所で被害がありました。

地震後には多くの方にご心配をおかけし、お見舞いやご寄付などをいただきました。

会社、個人の方よりご寄付、避難生活に必要な発電機、食べ物、飲み物、生活用品など、多くのご支援をいただきました。

心より感謝申し上げます。

また、南あわじ市、北口 力危機管理部長が、9 月 12 日に来町しお見舞いと励ましの言葉をいただきました。合併前の姉妹町の三原町時代からの交流が続いており、このようにお越しいただきましたことにも感謝申し上げます。



南あわじ市危機管理部長 9 月 12 日に来町

完全復旧には、まだ時間がかかりますが、安心して生活できる平取町に戻るよう、ご寄付など活用させていただきます。

北海道平取高等学校への振興支援

教育委員会では、平取高校の特色ある教育活動を支援するとともに、入学および在学する生徒の保護者負担の軽減に努めることにより、高等学校教育の一層の充実を図ることを目的として支援しております。取り組み内容は、次のとおりです。

◆振興支援対策事業

振興支援の種類	内 容
① 遠距離通学生徒通学費補助事業	公共交通機関の乗車区間が片道 6km以上の生徒を対象として定期券購入費から 1 万円を控除した額を補助
② 各種資格検定等料補助事業	各種の資格検定等に要する経費について補助
③ 制服等購入費補助事業	新入学生徒を対象として制服購入費について全額補助
④ 部活動費補助事業	要項で定める部活動経費について補助
⑤ 見学旅行参加費補助事業	見学旅行に参加した生徒を対象として旅行経費の 1/4 を補助（上限 3 万円）
⑥ 平取高校教育振興会補助事業	平取高校教育振興会の活動について、毎年次、予算で定める額を補助
⑦ 学力向上サポート事業	外国語指導助手（A L T）派遣及び休日等における学習補充講師派遣
⑧ 新入学祝品贈呈事業	新入学生徒への祝品として、町教委より贈呈（電子辞書）
⑨ 町有バス利用貸出事業	平取高校の行事等について、町有バスの利用貸出年間 12 回を限度

◆中学校学力向上及び平取高等学校生徒支援事業



中学生も!



高校生も!

平取町公営塾 **びらとり義経塾**

5.7mon **正式開校!!**

一人ひとりに一つひとつ。
びらとりで夢がかなう。

公営の学習塾とは?

町が地元の中・高生のために開設する学習塾。
町民の皆さまのご理解のもと、授業料や教材費は無料で利用することができます。

◆対象◆
平取高校生・平取町内中学生

個別指導と最先端の映像授業で夢の実現をバックアップ!
当塾は1人ひとりに1つひとつの指導を行うため、入塾前のカウンセリング(3者面談)を行っています。

通塾回数: 中学生/週2回(自習は無制限)
高校生/何回でもOK

お申し込み・お問い合わせ
☎01457-3-7178
主催/平取町 受託事業者/株式会社Birth47 <http://bitorajuku.com>

4.13friより受付開始!!

びらとり義経塾の設備やシステムをご案内いたします。
学習状況や希望進路に応じた個別カリキュラムを作成いたします。

カウンセリング時間を45分程度頂いております(要保護者同伴/予約制)

◆開講時間◆
月～金 16:00～21:00 土 9:00～19:00 日・祝 休講

4.23monよりカウンセリング開始!!





門別警察署より感謝状（10/24）

門別警察署では、町内で行方不明になった高齢者を発見した宇南山嘉宣さんに感謝状を贈呈しました。



宇南山さんは、行方不明の方がいることを聞き、すぐに車で探しはじめました。間もなく歩いている人を発見し本人と確認して自宅に送りました。雨が降っていた日でしたが怪我など無く安心しました。

アシリチェプノミ体験（10/13）



二風谷オサツ沢で、アシリチェプノミ（新しいサケを迎える儀式）体験を実施しました。伝統的な、漁法の再現、儀礼・儀式、調理実習・試食などアイヌ文化を学びました。

サケの捕獲は、伝統的な器具を使用し昔ながらの漁法を体験しました。

平取ダム建設共同企業体 地域清掃に感謝

平取ダム建設共同企業体では、毎年5月と10月の2回、荷負および貫気別地区で清掃活動をしていただき感謝しています。



貫気別市街には、ゴミは少ないのですが、他の場所では、ビールやコーヒなどの空き缶、ペットボトルなどが多く捨てられていました。

これは、貫気別地区だけではなく、全町地区に共通するものです。「外にゴミを捨てない」という意識を住民やドライバー、全ての人にもってもらい、きれいな町にしましょう。

小・中学校へ新米プレゼント（10/25）

JAびらとり（仲山浩代表理事組合長）から町内の小学校・中学校へ新米の「ななつぼし」が寄贈されました。

仲山組合長が、平取小学校にて、児童代表3人に渡し児童は笑顔で受け取りました。

子どもたちは学校給食に出された新米をおいしくいただきました。



ハヨピラ現地見学会（10/27）

ハヨピラ現地見学会を開催しました。

UFO 研究家の天宮清氏がハヨピラがなぜできたか、建設作業工程や奇跡がおきたことなど、わかりやすく書かれた資料を順に見せながら説明をしました。

参加者は階段下からハヨピラ見上げ、納得しながら聞いていました。





平取高校トマトクラブ 新レシピ試食会 (11/2)

高校生による地元特産品開発事業として、平取高校の「トマトクラブ」の試食会があり地域の方に調理したメニューを順に食べていただきました。トマト肉まん、トマトと鱈の南蛮漬、野菜たっぷり！トマトのあんかけ丼、とまプリン、トマトマカロン、それぞれ平取町特産の黒豚、トマトジュースなどを使用しておいしく仕上げました。試食後にはアンケートを記入してもらい、さらに調理を工夫していきます。



トマトと鱈の南蛮漬

かわまちづくりシンポジウム ～沙流川と森とアイヌ文化～

11月9日～10日の2日間で「かわまちづくりシンポジウム」～沙流川と森とアイヌ文化～が町内外から100人を超える参加者のもとで開催されました。

9日の基調講演は、スイス近自然研究所代表の山脇正俊氏を講師に迎え、川づくり、森づくり、まちづくりのヒントになる国外の事例などもまじえ、「近自然」についてのお話をうかがいました。パネルディスカッションでは、遠藤副町長が進行役を務め、講師の山脇正俊氏、木村英彦氏（平取アイヌ協会長）、荻原 裕氏（日高北部森林管理署長）米津仁司氏（北海道開発局 室蘭開発建設部長）をパネラーとして、基調講演の感想や各立場での取組事例やこれからの考え方などのコメントをいただきました。



10日の現地見学では、約50人の参加により、バスにて沙流川沿いの堤防に設置した4箇所の視点場を見学し、視点場からの景観を解説するため、今後設置する看板の版面（案）を説明し、参加者よりご意見をいただきました。

イオルの森散策・植樹体験 (10/27)

二風谷ダムで魚道や熊の姿岩を見学し地震の影響を知る予定でしたが、雨天により見学できませんでした。

しかし、館内でDVDやお話しでサケの沙流川での遡上のことを具体的に知ることができました。

次に、植樹体験をし近自然森づくり協会の岡村俊邦氏より、土と肥料の割合や必要性を説明し「オヒョウ」をポットに植えました。森での木の大切さを感じました。



寄贈ありがとうございます (10/25)

すずらん福祉園後援会より、障害者支援施設すずらんに、軽トラックの寄贈がありました。



施設での作業にとっても貴重な軽トラックになります。あたたかいご厚意に感謝いたします。



教育委員会からのお知らせ

テーマに迫る、多くの成果を残し、学習発表会終了！

5つの小学校で開催 ～奏でて、演じて、踊って、素晴らしい発表の連続～

10月14日と20日に、5つの小学校で学習発表会が開催されました。5つの小学校では学習発表会のテーマに迫り、目標を達成し、多くの成果を残し無事終了しました。

【10月14日】



◆振内小学校
「失敗ないように練習をし、
みんなで協力して、楽しい学
習発表会にしよう」
← 5・6年劇
「西遊記」
全校合唱
「あした笑顔になあれ」 →



◆二風谷小学校
「仲間とともにステージに
花をさかせよう！」

中：全校合唱
「明日へつなぐもの・地球星歌」
右：3・4年劇
「それいけ！よしやるぞ海賊団
～宝島への冒険～」



【10月20日】



◆貫気別小学校
「ぶたいで輝け
ヒーローたち！」
← 1・2年劇
「ぬきべつおばけ小学校」
5年劇
「本当のたからもの」 →



◆平取小学校
「届けよう。
夢と勇気と感動を。」

左：1年あいさつ
「開会の言葉」
中：6年音楽
「ファイナル コンサート」



◆紫雲古津小学校
「25人が協力して歴史に残る
楽しい学習発表会にしよう！」
← 5・6年劇「おりづる」
全校器楽「ブラジル」 →
(アンコール:観客と共に演奏)



平取高校へ3ヶ月間の短期留学 ～ニュージーランドのマオリ族～

教育委員会では、青少年国際交流事業として、ニュージーランド北部のムルパラ町にあるマオリの学校タフィウアウ校から留学生を受入しています。昨年度は、当町から2人が短期留学しており、次年度以降も交換留学を継続することで、子どもたちの国際交流と平取高校の魅力化に繋がりたいと考えています。

今年度は9月21日に4人が来日し、12月10日までの間、町内の6家庭にホームステイしながら、平取高校に通っています。



【 留学生のご紹介 】

前列右端

カレエラ・バードさん (14)

前列右から3番目

ペラニコ・バードさん (17)

前列中央

プヒモアナ・フリワカさん (14)

前列左から3番目

キミオラ・ハニーコムさん (16)



留学生は高校で、書道や茶道など様々な日本文化を体験し、高校生は、ニュージーランドの踊りやスポーツなど相互の文化を楽しく学んでいます。



高校では、その様子をHPに掲載していますので、ぜひご覧ください。

また、アイヌ語教室をはじめ、たくさんのアイヌ文化に触れる活動も行っています。

右の写真は、刺繍でアイヌ文様のコースター作りをしている様子です。



11月4日に開催された、本町地区文化祭芸能発表会にサプライズゲストとして出演し、伝統芸能の『ハカ・マカ』という迫力ある歌と、しなやかさと力強さを併せ持った踊りを披露し、来場者を楽しませてくれました。

彼らはとても気さくですので、街であった時には、マオリの挨拶『キオラ』と声をかけてあげてみてください。きっと、『キオラ』と返してくれます。

教育委員会からのお知らせ

平成 30 年度 体育館まつり開催！！

10 月 23. 24 日に本町地区体育協会と町民体育館が主催の体育館まつりが開催されました。

23 日に行われたゲートボール競技は、3 チーム 12 人の参加となりました。

参加人数が少ないため、混成チームに編成し直し、総当たり 2 回 計 6 回試合を戦いました。

室内専用球の不規則な転がり方にいつもの調子が出ず苦戦している方も見られましたが、楽しんで行うことができました。結果は次のとおりです。

優 勝：混成 A チーム
準優勝：混成 C チーム
3 位：混成 B チーム



去年まで 3 日間で行っていたミニバレー競技ですが男子 5 チーム、女子 4 チームの計 9 チーム 45 人の参加とチーム数が少ないため、24 日のみ行いました。

普段からミニバレーをしている方もなかなかする機会がない方も、優勝をめざし楽しく試合を行うことができました。結果は次のとおりです。

(男子)	(女子)
優 勝：オケマル水産 B	・ SATY
準優勝：オケマル水産 A	・ チーム 4K
3 位：川上会	・ JA びらとり バレー部



スポーツ少年団研修事業～盛り上がった「サッカー観戦」～



11 月 4 日、平取町スポーツ少年団が主催する「平取町スポーツ少年団研修事業」により、サッカー J1「コンサドーレ札幌 VS ベガルタ仙台」戦を少年団員や指導者 20 人が観戦してきました。

参加者はプロの白熱した試合に興奮しながら熱心に応援していました。試合は「1-0」でコンサドーレ札幌が勝利！この勝利でコンサドーレ札幌は J1 リーグ単独 3 位に再浮上し、大いに盛り上がりました。

参加者たちはプロのプレーを間近で見てたくさんの刺激を受け、改めてスポーツの楽しさを実感できた 1 日になったと思います。

博物館コラム 「チブの種類」

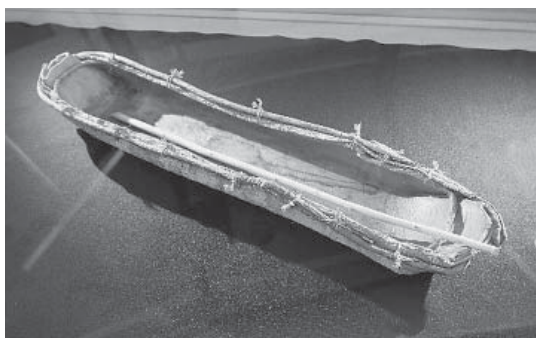
チブには様々な種類があり、使う場所や使い方によって以下の表のとおり分けられます。今回はその中でもヤラチブとイタオマチブをご紹介します。(表は引用・参考文献①に基づき作成)

使う場所	チブの名称	使い方
河沼用 ペトルンチブ pet-orun-cip 川・[～の所] へ・舟	ヤラチブ(樹皮舟)	獲物などを運ぶ
	チブ(丸木舟)	普通の大きさ、日常で使う (主に河川の行き来や漁労)
	ポロチブ(大きい丸木舟)	運搬専用
海上用 アトウイオルンチブ atuy-orun-cip 海・[～の所] へ・舟	板を つけた 舟 イタオマチブ(板綴舟または板はり舟)	大河の河口、中流域での漁労、荷物運搬
	モチブ(持符)	2～3人で乗り海上40km以上沖でマンボウ、メカジキ漁を行った
	レパチブ(沖漁用の船)	沖用、帆を備える
	ウイマムチブ(交易船)	交易品を運ぶ(交易:物品を交換すること)

ヤラチブ

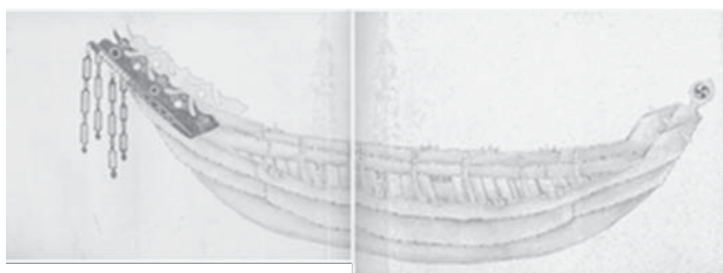
山で動物の毛皮や肉、オヒョウなどの木の皮を持ち帰る際に作られる、簡易的な舟です。材料はキハダやエゾマツなどのコルク質が厚い樹皮が適しているそうです(犬飼 1939)。ヤラチブは軽くて持ち運びしやすいという利点があるため、狩猟や採集の際に使う舟として適していると思われます。

右の写真は二風谷アイヌ文化博物館所有のヤラチブの模型で、現在開催中の博物館特別展「チブサンケ」(12月2日まで)で展示しています。



イタオマチブ

大きな川や海で使用されました。丸木をくり抜いた舟底にひもで板をくくりつけたものですが、そうすることで舟が補強される、水面に対して舟べりが高くなるなどの利点がもたらされます。



ウイマムチブも板がつけられていましたが、こちらは近隣の国へ交易品を運ぶための特別なものです。舟についての飾りを大切にしなければ神の罰を受けるとされ、飾りが破損しても捨てずに保管していたそうです(岩本 2013)。

チブから考えられること

チブ、ヤラチブ、イタオマチブは大正期頃まで生活必需品として併用していたとされています(難波 1991)。当時の人々は、チブの用途に応じて適切な樹木を選び出す知恵があると同時に、造船技術にたけていたと言えます。チブはガソリンや重油などの燃料ではなく、水力・風力・人力によって進みます。また、天然素材で造られており、使用後は自然にかえります。チブをみることで自然と共に生きた人々の生活をうかがい知ることができます。(広岡 絵美)

[引用・参考文献]

①難波琢雄 1991「アイヌ丸木舟の地方型」『アイヌ文化』16、②犬飼哲夫 1939「アイヌの木皮舟」『北方文化研究報告』1、③岩本才次 2013「準構造船とアイヌ民族のイタオマチブについて」『鹿児島工業高等専門学校研究報告』48

あこやがなび

問 保健福祉課 ☎ 4-6112

平取町子ども 発達支援センター 『ひよこ学級』

子ども発達支援センター とは、どんなところ？

＊児童発達支援事業
＊放課後等デイサービス
の二つの事業を行っています。

児童発達支援事業とは？

未就学児（0才から就学前）のお子さんを対象としています。発達で気になるところがあるお子さんや就学前に小集団での活動を経験していく場です。

また、子育て上の悩みに
についても相談を受けています。

放課後等デイサービスとは？

小学生から18才までを対象としています。

発達で気になるところがあるお子さんや集団生活への対応、日常生活における基本的な動作の習得を実施しています。

また、子育て上の悩みに
についても相談を受けています。

職員構成

＊管理者 1人

＊児童発達支援管理責任者

＊保育士 1人

＊児童指導員 1人

専門支援

＊作業療法士

＊臨床発達心理士

＊言語聴覚士



「社会福祉法人静内ペテカリ
支援者応援センターからふる」から月に1～2回程度
支援に來ています。

巡回療育相談

＊室蘭児童相談所の巡回児童相談

＊道立施設専門支援事業

（北海道立子ども医療・総合療育センターから医師などが年2回來ています）

センターのプログラム

＊午前（幼児）

個別・グループ療育になります。身体遊びや設定遊び（週の遊びをみんなで楽しみます）

＊午後（幼児・学齢）

個別・グループ療育を行います。遊びを通して療育を行います。

赤ちゃんの発達について

＊体づくり～ゆさぶり遊び～
ゆさぶり遊びは、平衡感覚を育み、しっかりした体をつくります。また、リズムカルに動かされることで心地よさを感じると、脳からドーパミンが出ます。これは前頭葉の発達につながります。

①背中がしっかりとってきたらへ6カ月頃、横抱きにしておいて、子どもと目を合わせ、歌いながら左右に軽く揺らします。

②座位が安定してきたへ10カ月頃からタオルケットを使ったゆらし遊び（タオルケットの上に寝転がり、大人が両端を持って横にやさしく揺らす）も楽しめます。

※ゆさぶり遊びでは子ども自身
が心地よく思っているかが重要です。遊びながらも、子どもが楽しそうな表情をしているのか、笑い声を出しているかを確認しましょう。



*発語を促すかわり

6カ月頃から見られる手さし、指さしは、話し言葉につながる重要な特徴です。また、この頃から、なん語の発音も盛んで、無意味な発声から意味をもつ音声になっていきます。ここで大切なのが、子どもの手さしや指さし、音声に言葉で対応していくことです。

例えば「あー」「うー」といった無意味な発声の段階から、「はい」「なあに」などと応じます。このやりとりの繰り返しのよって、子どもは「この人は自分の要求に応じてくれる」とわかり、言葉や発声などで自己表現をする意欲につながります。

【問合先】

保健福祉課

子ども発達支援センター
ふれあいセンターびらとり内

☎ 2-3400

電話相談、子育ての相談をお受けします。

月～金 9:00～17:00

来所相談は、電話で日時をご確認ください。お気軽にど



図書館へいこう

○開館時間 火～金曜日 9:30 ～ 18:00

土・日曜日 9:30 ～ 17:00

○休館日 月曜日・祝日

※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館



図書館カレンダー

12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

 は休館日です

新着図書

【小説・エッセイ】

『エムエス 継続捜査ゼミ 2』

／今野敏

『どんまい』／重松清

『猫と狸と恋する歌舞伎町』

／額賀滯

『時代』／本城雅人

『30センチの冒険』

／三崎亜記

『ビブリア古書堂の事件手帖』

(8)／三上延

『決戦！設楽原 武田軍 vs.

織田・徳川軍』／宮本昌孝ほか

『沈黙のパレード』(ガリオ9)

／東野圭吾

『野の春』(流転の海9)

／宮本輝

『猫がいなけりゃ息もできない』

／村山由佳

『先生、ちょっと人生相談いい

ですか？』

／瀬戸内寂聴、伊藤比呂美

【医学】

『専門医が教える組み合わせ自

在腎臓病レシピ』／両角國男

『シニアの筋トレ・ロトレ・骨

体操』／荒井秀典

【社会・その他】

『告白 あるPKO隊員の死・23

年目の真実』／旗手啓介

『女子のための「手に職」図鑑』

／華井由利奈

『安楽死を遂げるまで』

／宮下洋一

『どんな災害でもイヌといっ

しょ』／徳田竜之介

【絵本】

『せん』／スージー・リー

『おばあちゃんのおくりもの』

／キャリー・ガラッシュ文 サ・アクトン絵

『クリスマスのあかり』

／レンカ・ロジノフスカ

『それしかないわけないで

しょう』／ヨシタケシンスケ

クリスマス絵本展

12月1日より、図書館カウンター前で「クリスマス絵本展」を開催します。新しい絵本から懐かしの絵本まで、たくさん展示しますのでぜひお越しください。



おすすめ紹介



『カムイたち

キムンカムイ 母さんとのわかれ』

／木村二三夫 さく 本多淳え

(リーブル出版)

平取町在住の木村二三夫さん、本多淳さんが絵本を制作・出版し、町立図書館にも寄贈してくださいました。

キムンカムイ(ヒグマ)の親子愛や優しさ、思いやり、自然の厳しさを描いた物語です。



図書ワゴン(移動図書館車) 運行日程

12月6日(木)

【振内地区】 10:00～11:00 山の駅ほろしり館

【貫気別地区】 11:30～12:30 貫気別生活館

【二風谷地区】 13:45～14:15 二風谷生活館

【紫雲古津地区】 14:45～15:15 紫雲古津生活館

■貸出期間は次の巡回日までになります。

■利用者カードが無くても貸出できます。



【問合先】 平取町立図書館

TEL 01457-4-6666

FAX 01457-4-6871

メール risu2@guitar.ocn.ne.jp

すずらん短歌会詠草

「すずらん短歌会」入会者募集！

希望者は、中央公民館生涯学習課社会教育係へ

敬老会園児の踊り愛らしく 男の子の目くばりうまきに感心	中沢 三子
秋の空高く高く澄みきって 夕暮れ早く星空の夜	相田 のぶ子
もうすぐに終りを告げる秋の季に 背延びして咲く野の花愛らし	中原 千鶴子
仰ぐればいつもと同じ秋の空 あの惨事は悪夢のごとし	石川原多満代
山道は木の葉の舞いに子狐が 合わせて跳ねるお伽の世界	熊谷 厚子

今月のワンショット

船越光次氏 本町地区文化祭に、ポストカードで町内の写真、流木で作成した動物などを展示 (11/3)



まちの人口と世帯数

人 口	5,094 人	(△ 8)
男	2,486 人	(△ 9)
女	2,608 人	(△ 3)
世帯数	2,575 世帯	(△ 12)

() 内は前月比 10月末現在



有料広告

